

2022 年 2 月 7 日

京大天文台基金にご寄附頂いた皆様へ

京都大学理学研究科附属天文台
台長 一本 潔

京大天文台基金への

ご寄附のお礼と 2021 年活動のご報告

拝啓

日頃から京大天文台の運営にご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

2014 年に創設しました天文台基金は皆様からの温かいご支援を賜り、この間にお寄せいただいたご厚志は、私ども天文台施設の維持・運営にとって大きな支えとなってきました。2021 年の総額は、1595 万円になり、その目的別内訳は次項にお示しする表の通りでした。皆様から頂いたご寄附は京大天文台基金として積み立て、寄附の目的に沿って各事業の支援に充てております。ここに皆さまのご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。

京都大学理学研究科附属天文台は、92 年の歴史を持つ花山天文台、太陽観測の第一線で活躍する飛騨天文台、3 年前に新しく設立され、アジア最大のせいめい望遠鏡を有する岡山天文台を運営しております。なかでも花山天文台は、最先端観測の役目を飛騨天文台と岡山天文台に引き継いだことから、その運営費の殆どを寄附金に頼らざるを得ないのが現状です。皆様のご寄附があることで、花山天文台は今でも大学の教育施設として天文学を志す学生達の育成に、また、市民に開かれた天文台として天文学の普及活動に活躍しています。

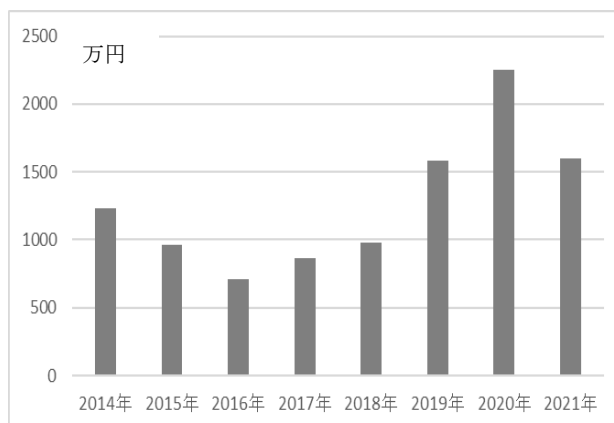
皆様からのご寄附は、私どもの天文学研究、そして教育・普及活動の大きな支えとなります。このたびのご厚情をありがたく受け止め、これからもこれらの活動に努めてまいり所存です。

改めましてご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。

敬具

天文台基金 2021 年の集計とこれまでの推移

	2021年	累計
寄附方法		
・天文台基金に直接	9,717,900	69,347,357
・京大基金経由	6,235,369	32,416,072
合計（円）	15,953,269	101,763,429
	2021年	累計
目的別		
・岡山	74,000	5,464,816
・飛騨	149,500	8,034,761
・花山天文台等見学会	2,062,369	29,584,889
・国際共同プロジェクト	45,000	1,063,912
・一般寄附	13,622,400	57,615,051
合計（円）	15,953,269	101,763,429



お知らせ：観望会優待 有効期限延長について

コロナ禍の折、現在昼の見学会に加えて皆さまをご優待するはずの夜の星空観望会がながらく開催できず、そのためご優待の有効期限が2021年12月末までの方(2019年にご寄附いただいた方)に対し、**期限を2022年12月末まで延長します。**

同封資料：

- ・附属天文台パンフレット（大型版—最新版：2020年11月）
- ・京大理学研究科附属天文台 年次報告 最新号（2021年）はじめに
- ・グリーティングカード（2022年）
- ・京都花山天文台将来を考える会 会報 第8、9号（2021年4、10月）
- ・一般財団法人花山宇宙文化財団リーフレット
- ・京大天文台基金パンフレット（2020年6月）

花山天文台

ご寄附は、花山天文台の施設を維持管理し、見学会を担当する職員の雇用に活用しております。コロナ禍の中、花山天文台の見学会・天体観望会は、繰り返し長期に渡る中断を余儀なくされていますが、この一年では、再開に向けて多くの皆様に安心してお越しいただくため、屋外階段の手摺りや各建物の案内板、東山ドライブウェイの案内看板を新たに設置することができました。また、10月には花山天文台を応援する、世界的音楽家の喜多郎さんによる野外コンサートのネット配信をおこなうことができました。さらに、老朽化のため稼働できなくなった花山天文台ザートリウス望遠鏡を修理いたしました。

花山天文台の各所に安全対策を施しました。(2020年)



歴史館入口階段に手すりを、崖の境界にフェンスを設置しました。



新館前から別館へ向う階段に手すりを設置しました。

来台者の便宜を図るため、花山天文台の各建物に案内板を設置しました。(2021年)



2021年は、コロナ禍のため7月と10月のごく限られた期間、人数制限を行いながら、花山天文台の土日公開、観望会を再開しました。

開催日数：23回(7月～8月 5回、10月末～12月 18回)

参加人数：のべ290名(7月～8月 78名、10月末～12月 212名)



2021 年 7 月



2021 年 11 月

参加者の声（ アンケート結果より）

「楽しかった」「また来たい」「説明が丁寧で良かった」「歴史ある施設が残って欲しい」など好評を多数いただきました。（以下抜粋）

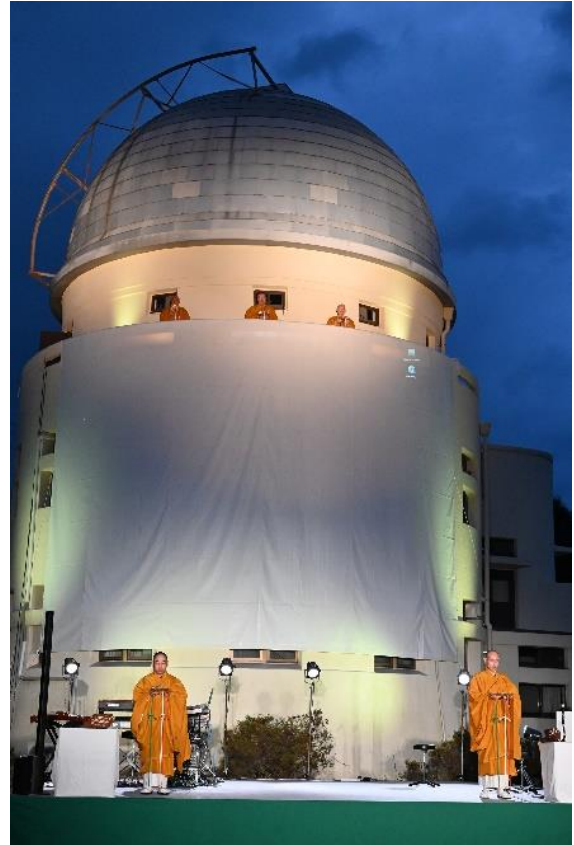
- ・ たのしかった大きいぼうえんきょうにびっくりした。（10 歳未満）
- ・ 4 次元シアターは迫力があって、とてもおもしろかったです。（10 代）
- ・ 親子で宇宙の事や星の事が知れて楽しかったです。（30 代）
- ・ 京都に住んでいても花山天文台の事を何も知らなくて初めて、こんな歴史のある天文台を見学できてとても感動しました。（30 代）
- ・ 昼間に天体観測を初めてしました。太陽の像もスペクトルも、大きな望遠鏡も感動でした！！ぜひとも残して欲しい施設です。（20 代）
- ・ スペクトルなどがとてもわかりやすくよかった。（10 代）
- ・ 太陽望遠鏡のツアーは大変専門的な内容で興味深かった。（60 代）
- ・ ちょうど太陽の活動が活発で、興味深いお話をきかせていただいて楽しく、学びが深まったように思います。（50 代）
- ・ 歴史ある施設、望遠鏡が今も動いている事に驚きました。（60 代）
- ・ とてもフレンドリーで質問しやすかったです。（60 代）
- ・ 建物に興味があっけましたが予想以上の魅力があり、また天文文化もしれてありがたかったです。（40 代）
- ・ 是非子供達のためにも存続させて下さい。平日開催もできるようになればうれしいです。（60 代）

観望会感想

- ・ もっといろいろな天体を見てみたいと思いました。（10 歳未満）
- ・ 孫に大きな贈り物が出来ました。（70 歳以上）
- ・ 月のクレータがはっきり見え、迫力満点でした。（60 代）
- ・ この様な充実した内容とは思ってなくて、おどろきでした。（70 歳以上）

花山天文台応援・喜多郎野外コンサート「未来へ」を開催しました。

2021 年 10 月 16 日



古事記と宇宙を演奏する喜多郎さんとバイオリニストの鹿嶋静さん（左写真）。シンガーのフランシーさん、鼓奏者の祝丸さんも出演されました。また醍醐寺の僧侶のみなさんによる声明との共演もおこなわれました（右写真）。

花山宇宙文化財団の尽力により、京阪バスの
将軍塚路線にバス停「花山天文台・阿含」が
新設されました。2021 年 9 月

東山ドライブウェイからの
入口付近に案内看板を増設
しました。2020 年

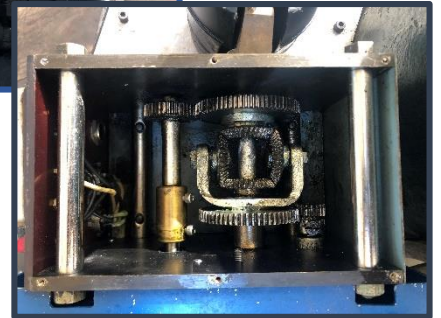


ザートリウス望遠鏡の赤道儀を修理しました。



← 極軸

追尾駆動用
ギヤボックス→



100 年以上働き続けてきた軸受けや歯車は、ときどき悲鳴をあげることがあります。

岡山天文台

ご寄附は、せいめい望遠鏡の鏡の再蒸着や駆動装置の故障など、数年に一度は必要となる大規模な補修のために積み立てております。

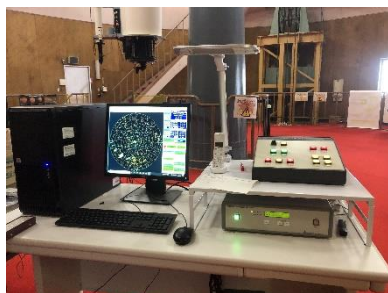
2021 年、せいめい望遠鏡は順調に共同利用観測を実施し、様々な研究成果をあげています。新しい観測装置の開発も進められました。ただ、副鏡表面の劣化が進んだため、梅雨期にこれを取り外して再蒸着をおこないました。



飛騨天文台

ご寄附で、飛騨天文台 65cm 屈折望遠鏡の赤道儀の改修を実施しました。

老朽化のため修理不能となっていた望遠鏡の制御装置を、2017 年に寄附金によって一新することができました。観望会では大人気の望遠鏡ですが、コロナ禍のため、ここ 2 年は公開を見合わせています。



国際共同プロジェクト

ペルーで天文学を志し太陽観測を続けている若手研究者の支援に使わせていただきました。



イカ大学の太陽観測ステーション。飛騨天文台から移設された太陽望遠鏡が日本の夜中に活躍しています。望遠鏡の維持、日々の観測に励むペルーの若者（右）。